

企画セッション

◆ニューノーマル時代の働き方に則した内部不正防止/秘密情報保護の指針のあり方とは◆

<日時> 令和3年11月28日(日) 10:00～11:30

【講演者】

■ 講演

コロナ禍における内部不正/秘密漏洩のリスクの高まりや手口の現状

<講演者>

三笠 武則氏 営業秘密保護推進研究会 事務局長
株式会社NTTデータ経営研究所 エグゼクティブスペシャリスト

■ パネルディスカッション

<パネリスト>

青嶋 信仁氏 株式会社ディアイティ セキュリティソリューション本部長
加沢 徹氏 総合警備保障株式会社 開発企画部 担当部長
列夫ラデマツ氏 早稲田大学法学学術院 教授
西川 喜裕氏 弁護士・弁理士 三浦法律事務所 パートナー

<モデレータ>

三笠 武則氏 同上

■ 進行

三笠氏がポジショントークを行った上で、パネリスト全員によるパネルディスカッションを実施する。ポジショントークでは「英米の近年のテレワークセキュリティ/インサイダー脅威対策指針の現状」について紹介する。

【内容】

ニューノーマル時代に向けてテレワーク、兼業、ワーケーション等の働き方改革が急速に進んでいる。これに伴い、内部不正の増加が懸念され、秘密情報保護のための対策にも変化が生じてくるものと予想している。この動きを踏まえ、今後、経済産業省知的財産政策室が制定した「秘密情報の保護ハンドブック」や(独)情報処理推進機構が制定した「組織における内部不正防止ガイドライン」等に見直しが求められてくるものと考えている。

そこで、弊研究会が企画するセッションにおいては、まず最近の実態調査結果、秘密漏洩事例等に基づいて、内部不正/秘密漏洩のリスクの高まりや手口の変化について紹介するとともに、国内外の政策動向を俯瞰する。さらに、テレワークによって影響を受けやすい営業秘密の秘密管理性/非公知性に関する国内外の法解釈を比較した上で、これらに基づいて、「秘密情報の保護ハンドブック」や「組織における内部不正防止ガイドライン」のあるべき改訂の方向性についてディスカッションを行う。

以上

企画セッション

◆ニューノーマル時代の働き方に則した内部不正防止/秘密情報保護の指針のあり方とは◆

【略歴】

- ◇ 青嶋 信仁氏 株式会社ディアイティ セキュリティソリューション本部長
サイバー攻撃や内部不正などのインシデントへの対応を20年以上実施しており、2015年の日本年金機構のインシデントをはじめとする公的機関の第三者委員や捜査機関のアドバイザーをなど中立的な立場で業務を実施。また、現在でも他組織でのセキュリティアドバイザーとして前線で対応。
- ◇ 加沢 徹氏 総合警備保障株式会社 開発企画部 担当部長
株式会社日立製作所にて、ローカルエリアネットワークおよび光伝送システムの研究開発に従事するとともに、IEEE802.9委員会、ITU-T SG15にて通信インタフェースの国際標準化に参画。2016年、総合警備保障株式会社セキュリティ科学研究所長としてセキュリティ関連技術の研究開発に従事。現在、開発企画部担当部長として知的財産戦略の構築や技術教育指導に関する業務を担当。
電子情報通信学会会員、技術士（電気電子部門）。
- ◇ クリストフ・レーデマッハ氏 早稲田大学法学学術院 教授
米国スタンフォード大学ロースクール修士課程(LLM)修了。ドイツ・ジューゲン大学法学研究科法学博士。早稲田大学法学学術院では准教授を経て、2021年に教授に就任。ニューヨーク州弁護士。専門は知的財産権法、特許法、不正競争防止法。
- ◇ 西川 喜裕氏 弁護士・弁理士 三浦法律事務所 パートナー
2010年ユアサハラ法律特許事務所（～2019年9月）、経済産業省知的財産政策室 課長補佐（～2015年）。現在は三浦法律事務所パートナー。2019年経済産業省「不正競争防止法における渉外的な侵害事案等についての制度に関する委員会」委員（～2020年）。2020年「経済産業省 知財法制検討会（情報・データ）」委員（～2021年）。
- ◇ 三笠 武則氏 営業秘密保護推進研究会 事務局長
ITサービスの情報セキュリティ対策や利用者の権利保護に係る国・民間のガイドライン策定に多数従事。現在、株式会社 NTT データ経営研究所エグゼクティブスペシャリスト。営業秘密保護推進研究会 (<http://www.apptras.org/>) の設立に参加し、事務局長に就任。

以上